

名前（ ） 日づけ（ / ） できた数（ /27）

「ば」は直前の活用形で決まります 未然形＋ば＝順接の仮定条件（もし～なら／まだ起きていない） / 已然形＋ば＝順接の確定条件（～ので・～すると／すでに起きている）。

確定条件はさらに①原因・理由（～ので）②偶然（～すると）③恒時（～するときはいつも）の三つに分かれます。

四段動詞ならア段が未然形・エ段が已然形（散ら／散れ）。ここを見るのが最短です。

一次の各例文を読んで、後の問いに答えよ。

- ① 花散らば、また来（こ）む。
 - ② 花散れば、春も暮れぬ。
 - ③ 風吹かば、波立ちなむ。
 - ④ 風吹けば、波立ちけり。
 - ⑤ 命あらば、また会はむ。
 - ⑥ 命あれば、憂きことも多し。
 - ⑦ 雨降らば、行かじ。
 - ⑧ 雨降れば、道もあし。
 - ⑨ 門を開くれば、人ありけり。
 - ⑩ 春来ぬれば、花咲く。
 - ⑪ 過ぎば、悔しからむ。
 - ⑫ 過ぐれば、跡もなし。
 - ⑬ 都を出でしかば、日数経にけり。
 - ⑭ 見れば、蛭なりけり。
 - ⑮ さらば、参らむ。
 - ⑯ 山をば越えつ。
- 語注 あし＝悪い。憂し＝つらい・いやだ。跡＝あとかた。日数経（ひかずぶ）＝日数がたつ。 ※例文は学習用に作成しています。

A 「ば」の直前の活用形（1～7）

- (1) ① 「花散らば、また来（こ）む。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。
- (2) ② 「花散れば、春も暮れぬ。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。
- (3) ③ 「門を開くれば、人ありけり。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。
- (4) ④ 「過ぎば、悔しからむ。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。
- (5) ⑤ 「命あらば、また会はむ。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。
- (6) ⑥ 「都を出でしかば、日数経にけり。」の「ば」の直前の語は何か。品詞と活用形まで答えよ。
- (7) ⑦ 「見れば、蜚なりけり。」の「ば」の直前の語を、活用の種類と活用形まで答えよ。

B 仮定条件か確定条件か（8～11）

- (8) ①～⑧のうち、順接の仮定条件（もし～なら）はどれか。番号をすべて書け。
- (9) ①～⑧のうち、順接の確定条件はどれか。番号をすべて書け。
- (10) ⑪と⑫は同じ動詞「過ぐ」だが、意味がちがう。それぞれ仮定か確定かを書け。
- (11) ⑮「さらば」はどのような意味か。直前の語の活用形も書け。

C 確定条件の三つの意味 (12～15) ★差がつく

(12) ④ 「風吹けば、波立ちけり。」の「ば」が表す確定条件の意味を、原因・偶然・恒時のどれかで答えよ。

(13) ⑨ 「門を開くれば、人ありけり。」の「ば」が表す確定条件の意味を、原因・偶然・恒時のどれかで答えよ。

(14) ⑩ 「春来ぬれば、花咲く。」の「ば」が表す確定条件の意味を、原因・偶然・恒時のどれかで答えよ。

(15) ⑥ 「命あれば、憂きことも多し。」の「ば」が表す確定条件の意味を、原因・偶然・恒時のどれかで答えよ。

D 口語訳 (16～21)

(16) ① 「花散らば、また来(こ)む。」

(17) ② 「花散れば、春も暮れぬ。」

(18) ⑨ 「門を開くれば、人ありけり。」

(19) ⑩ 「春来ぬれば、花咲く。」

(20) ③ 「風吹かば、波立ちなむ。」

(21) ⑦ 「雨降らば、行かじ。」

E 記述と応用 (22～24)

(22) ⑬ 「山をば越えつ。」の「ば」は、これまでのものとどうちがうか。文法的に説明せよ。

(23) 「花散らば」と「花散れば」は、なぜ意味が変わるのか。「ば」の付き方から説明せよ。

(24) 「ば」の識別で、まず何を見ればよいか。手順を書け。

F まとめ (25～27)

(25) 未然形+ばの意味を書け。

(26) 已然形+ばの三つの意味を書け。

(27) 四段動詞で未然形と已然形を見分けるには、どの音を見ればよいか。

【テスト直前チェック】この三つ ①未然形+ば＝もし～なら／已然形+ば＝～ので・～すると。これだけは即答。②四段はア段が未然・エ段が已然（散ら／散れ・吹か／吹け）。音で割れます。③「をば」は接続助詞の「ば」ではない（格助詞「を」＋係助詞「は」）。直前が名詞なら別物です。